



創造・参加・実践

OSAKA!

1/1
JAN.2012
NO.278

西日本旅客鉄道労働組合 大阪地方本部 〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町10-67

TEL(NTT)06-6773-3192 (JR)074-3191~3
FAX(NTT)06-6773-3194 (JR)074-3194

●発行責任者/杉原清道 ●編集責任者/塚本孝則

本年もよろしくおねがいします

〈執行部一同〉



書記長
西村 誠



副執行委員長
小出 芳樹



副執行委員長
川北 和一



執行委員
井上幸一郎



執行委員
森本 和弥



執行委員
嶋田 俊也



執行委員
塚本 孝則



執行委員
松原 茂樹



執行委員
絹田 雅樹



執行委員
古家後 晃



執行委員
椿野 浩之



執行委員
川本 大展



執行委員
本橋 暁



執行委員
筆野 恭忠



執行委員
徳岡 英志



執行委員
濱田 舞



青年女性委員長
牧野 誠



営業部会長
大林 進治



運転部会長
宮崎 勝彦



工務部会長
日須 一男



関連事業部会長
野口 隆



間接部会長
安井 竹史



新幹線協議会議長
瀧井 悟

- 奈良支部 池永 愛
- 天王寺支部 横田かおる
- 大阪支部 渡辺真理子
- 北大阪支部 新治 恵子
- 大阪地方本部 松尾久美子
- 大阪地方本部 東良 チカ
- 大阪地方本部 徳山 浩美
- 大阪地方本部 小谷 幸代

- 会計監査 中井 貴志
- 会計監査 下村 忠



JR西労組大阪地方本部
執行委員長 杉原 清道

旧年はJR西労組大阪地方本部の活動に對しまして、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も組合員・ご家族の皆様方にとりまして良い年でありますようにお祈り申し上げます。

さて、今年が良い年となるように思われている方が例年にも増して多いのではないのでしょうか。昨年は何と云っても東日本大震災の発生や台風十二号の襲来、海外においてはタイの大洪水など自然が猛威を振り、欧州・ギリシアに端を発した世界的な金融危機、信用不安による世界経済の混乱など日本だけでなく、世界が大変な年であったと思います。

一方、JR西日本では山陽・九州新幹線の相互直通運転の開始、大阪ステーションシティの開業と二大プロジェクトが開花し、順調に滑り出した年でもありました。そんな中、今年も私たちが取り巻く社会環境は激しく変化し、社会構造も大きく変化をしていくことが想定さ

れますが、「私たちが大事にしなければならないことは何か」、「何を基軸に私たちの将来を展望していくのか」ということが、従来にも増して問われている時代であると思っております。

私自身は「人材の育成」が、何にも増して大事なことでないかと思っております。

歴史をさかのぼれば、日本が江戸時代に終わりを告げ、開国を行い、明治維新を断行して近代日本の礎を築いてきた先人に習って考えれば、人の育成、教育に重点を置いた国づくりをしてきた先人がいたからこそ、今日的な日本の繁栄や現在、私たちが文化的な生活を享受できていると考えます。

幕末には、有名な吉田松陰が松下村塾、大阪で言えば緒方洪庵が開いた適塾、各藩が各地で開設した藩校など

から近代日本を導いたリーダーが輩立ちました。明治以降は義務教育制度によって国民皆教育が施行されました。後発国ながら太平洋戦争前におけるアジアでの日本の地位を築き、太平洋戦争の敗戦という大変な困難を乗り越え、戦後、アメリカに次ぐ経済大国に上り詰めることができたと考えます。

私たちに身近な例を挙げれば、鉄道の先人たちは敗戦という大変な状況から十四年目に東海道新幹線の建設工事に取り組み、五年の工事期間を経て、今から半世紀近く前の一九六四年には当時の鉄道では驚異的な二〇〇km/hを超える世界最速、安全性の極めて高い、現在でも色褪せることのない「新幹線」を生み出し運行してきました。

社会環境の変化やコンピューターの進化、科学技術の進歩は著しいものがありますが、危機的といわれる環境に直面することがあっても、その状況を克服していくのは「人」であり、「人智が道を開く」ものと思っています。その意味で、労使問わず、「次世代を担う人材の育成、課題を克服していく人材の育成」について組織を挙げて取り組んでいく決意を申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

二〇一二年 年頭のあいさし

人材の育成 人は石垣、人は城